

まちの話題

抹

茶の里にしおの伝統行事 学校茶摘みを実施



5月18日から31日にかけて、西野町小学校の児童4～6年生約160人と西尾地区の6つの中学校の生徒約3,300人が「学校茶摘み」に取り組みました。この行事は地元の伝統的な産業を知り、地域と触れ合う勤労体験学習として実施するもの。子どもたちは摘んだ茶葉を入れる籠を手に茶園の中に入り、柔らかい新芽を丁寧に摘み取っていました。「お茶を摘んでいるのが楽しい」と笑顔で話す子どもたち。茶摘み体験終了後には抹茶入りのパンと飲み物が配られ、受け取った子どもたちの手は皆、まっ黒になっていました。



新

市誕生を肌で実感 新にしお産業物産フェアを開催

5月28日と29日、1市3町の合併を記念したイベント「新にしお産業物産フェア」が総合体育館で行われました。市内の120の企業や事業所が出展。屋内会場では各種さまざまな製品や食品などをPRした産業物産展が行われ、屋外会場では新市の新鮮な農水産物を使った食品の即売などが行われました。



また、イベント会場ではトヨタ自動車副会長の渡辺捷昭氏による特別講演会や風船太郎のバルーンショー、仮面ライダーショー、米村でんじろうプロダクションサイエンスショーなどが開催されました。雨が降る中、延べ1万5,000人ももの来場者が会場を訪れ、大盛況の2日間となりました。



大

地に描く大きな絵画 田んぼアート



6月3日、ふるさと公園グランド（鳥羽町）の南の水田で、田んぼアートの田植えが行われ、幡豆小学校の5年生74人が体験しました。子どもたちに農業体験を通じてふるさとの豊かな自然に触れてもらおうと、地元住民でつくる「幡豆地域ふるさと協議会」により企画され、今回で5年目となります。今年の原画は、幡豆の民話をもとに児童が描いた「しぼられた雷どん」と「穴観音」、そして「ガンバル日本」のメッセージです。7月には色鮮やかなアートが浮かび上がります。



できごと

5/16 ▶▶ 6/15

5/20 少年防犯隊結成式

津平小学校で半世紀以上続く少年防犯隊の結成式が行われました。県内唯一の少年防犯隊で、農繁期の家庭を空き巣などから守りつつ登下校します。



5/21 ~22 文協美術展を開催

文化会館で第40回文協美術展と第36回趣味総合展を開催。会場は約1,000人の来場者でにぎわいました。



5/24 泥リンピック

鶴城小学校5年生が鶴城丘高校の水田で泥リンピックを行いました。児童たちは泥だらけになって競技を楽しんでいました。



6/5 仁吉まつり



吉良町上横須賀の源徳寺で仁吉まつりが開催されました。墓前祭の後には鳴子を鳴らしながら商店街を練り歩く吉良小唄総踊りパレードが行われました。

6/11 ~12 三ヶ根山 あじさいフェスティバル

アジサイを描く会やウォーキング大会も行われ、色とりどりのアジサイを求めて、多くの人々が三ヶ根山を訪れました。



6/15 春の褒章を内閣府が発表

4月29日に発令された春の褒章受章者が発表されました。市内では統計調査功績の岩瀬博美氏(国森町/67歳)が藍綬褒章を受章しました。

頂 点を目指し頑張ります 県消防操法大会出場選手結団式

5月20日、県消防操法大会に出場する幡豆消防団の選手の結団式が消防本部で行われました。市長の激励の後、選手を代表して幡豆消防団第2分団の原田英晃さんが「西尾市消防団の代表として、頂点を目指してみんなで頑張ります」と決意を語りました。



大会では約70m先にある標的を火災と見立て、隊員6人で消防車を駆使し、いかに「素早く」「正確に」「結束して」消火活動を行うことができるかを競います。



選手たちは、7月16日に田原市で行われる大会を目指し、それぞれの仕事に出勤する前の早朝を中心に日々訓練を重ねています。

響 く太鼓の迫力に圧倒 佐久島太鼓フェスティバル

6月12日、佐久島で第3回佐久島太鼓フェスティバルが開催されました。この催しは島を美しくつくる会・いにしえ分科会によって行われたもの。地元の「佐久島太鼓保存会」「一色高校和太鼓部いっしき」をはじめとする市内外の8グループが、色鮮やかな大漁旗の掲げられた大浦海水浴場の特設ステージで、迫力ある演奏を披露しました。



躍動感溢れるパフォーマンスと太鼓のリズムに、観客席からは大きな手拍子が自然とわき起こり、来島した約1,000人は野外での演奏を楽しんでいました。